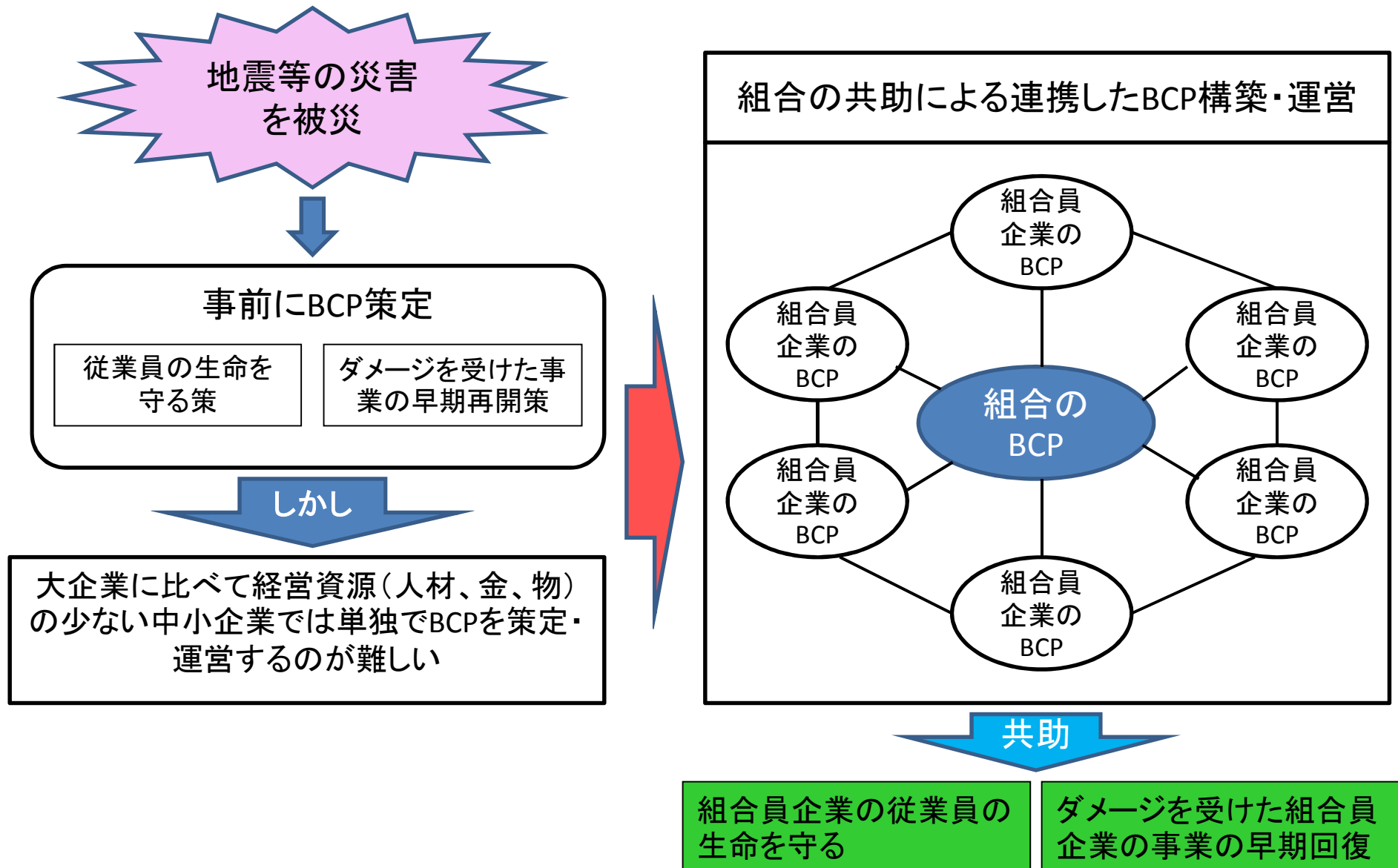
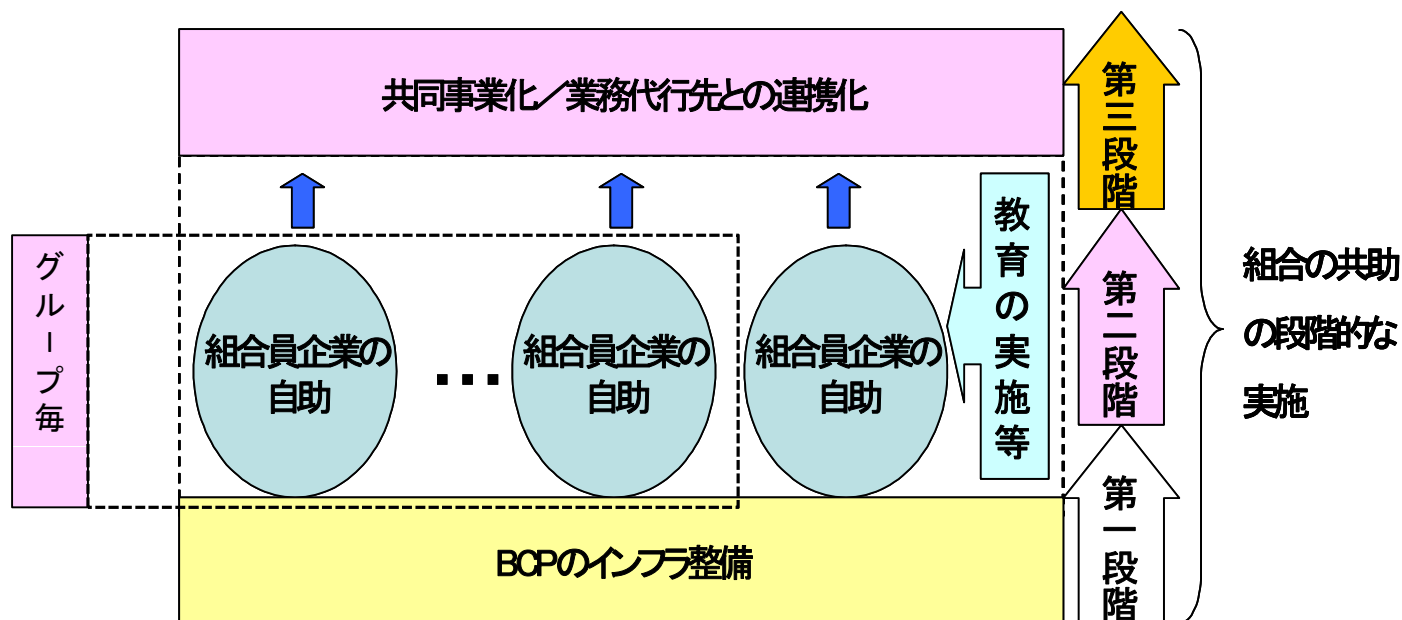


MDCの事業継続計画(BCP)の導入目的



MDCの事業継続計画（BCP）の構築・運用ビジョン

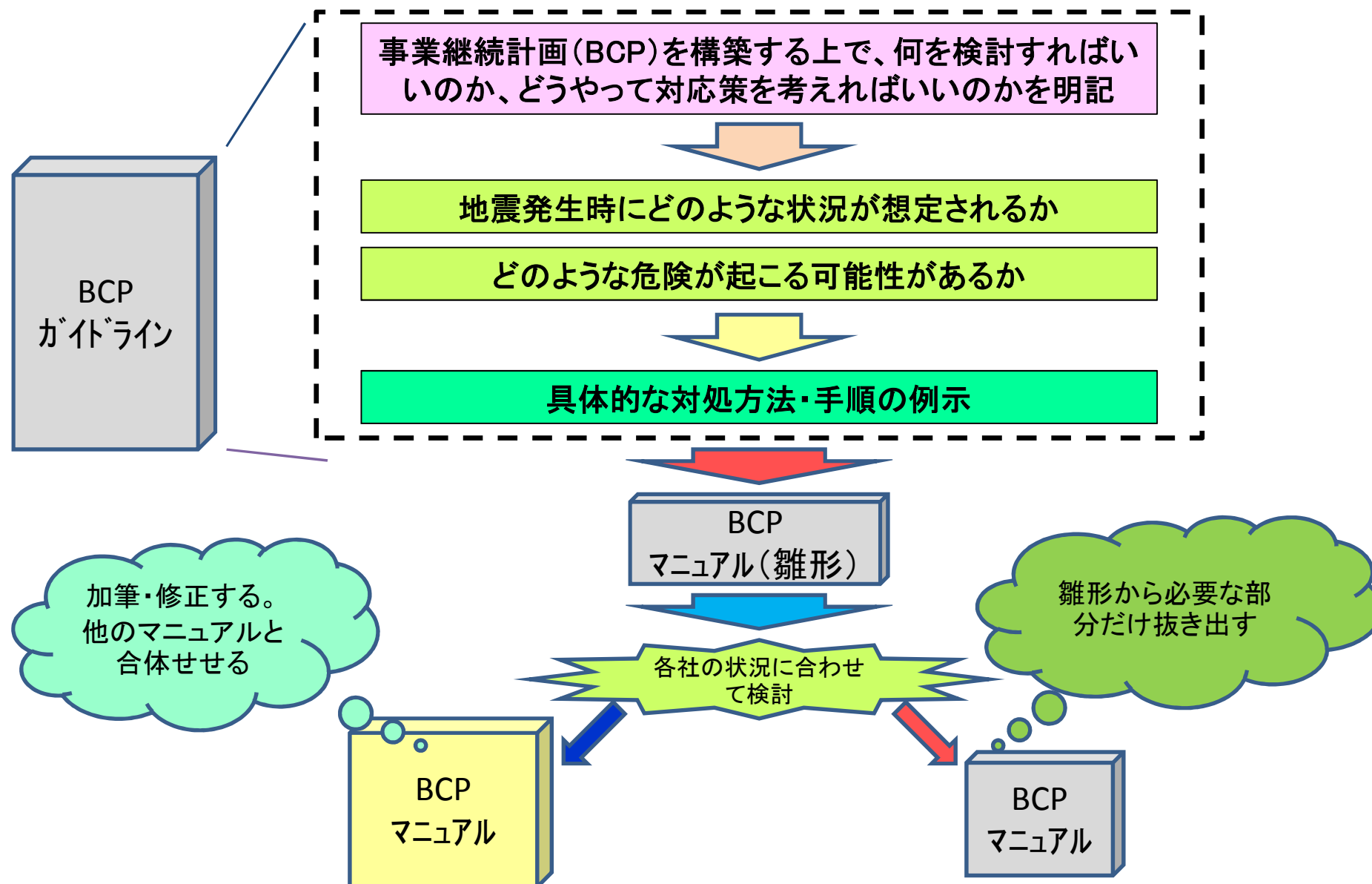
MDCにおける事業継続計画（BCP）構築は、以下の3段階で実施する。



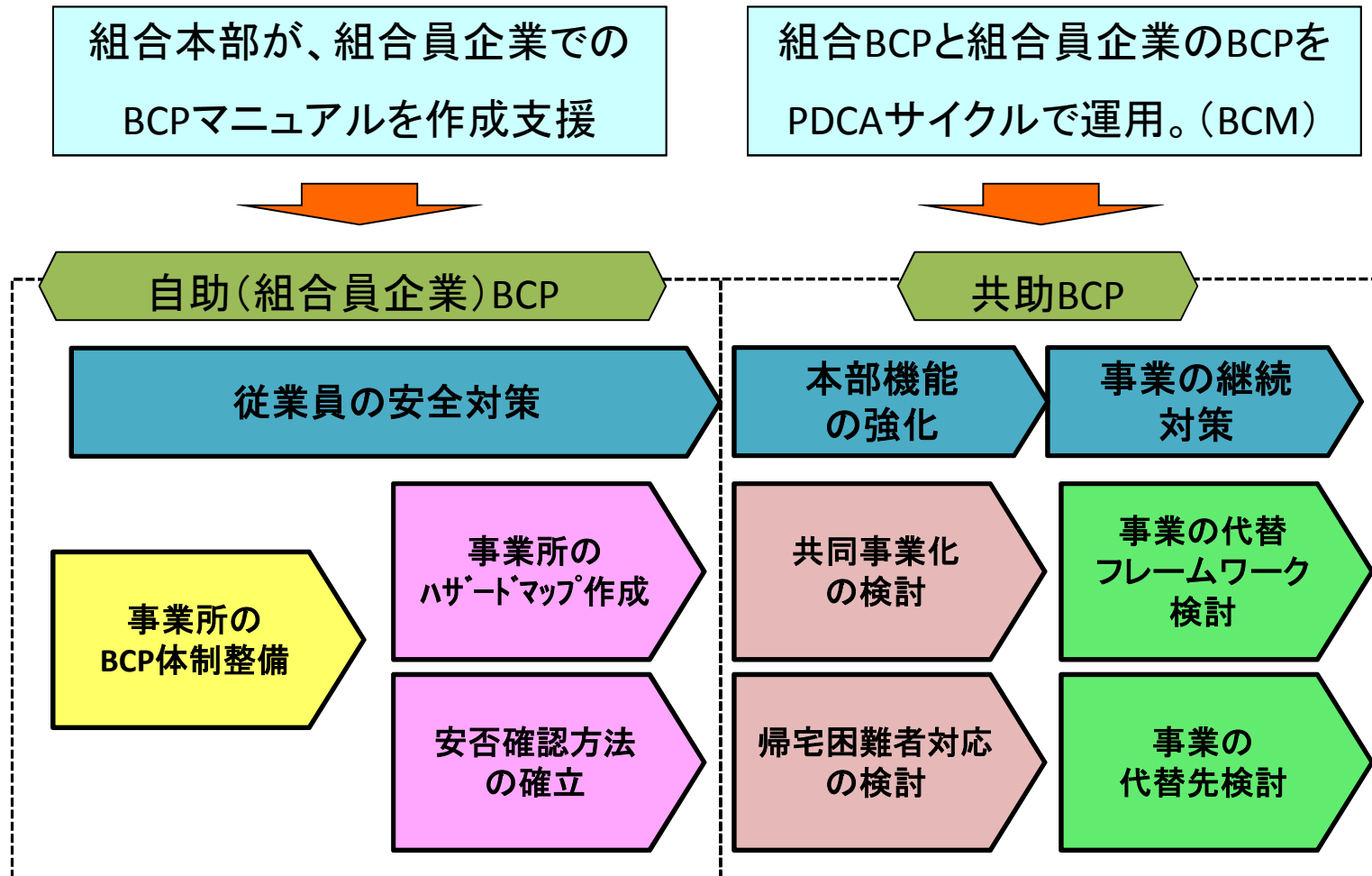
第一段階での共助	組合員企業が自助努力の範囲でBCPの仕組みを導入し易くするためのBCPのインフラ（基盤）となる部分を整備することから始める。インフラの整備として、安全な避難場所の確保、防災組織の組織化、防災器具の整備等を行う。
第二段階での共助	組合員企業における自助努力のBCP導入・運用を効果的に行うための各種BCP教育の実施、BCP専門家の紹介などの支援活動を行う。特に、組合員企業の規模の差やBCPへの取り組み程度の差によってBCP導入・運用が滞っている組合員企業に重点的に支援を行い、全体の足並みが揃えられるようにすることでMDCとしてBCPの充実を図るようにする。
第三段階での共助	BCPに関わる共同事業化（データバックアップ、食料調達）、業務代行先との連携等の推進を担っていくことになる。

事業継続計画（BCP）を構築する方法と手順について

MDCの第二段階における組合員企業におけるBCPは、BCPガイドラインに沿って構築。



今後の活動概要(BCPからBCMへ)



(専門アドバイザー:唐住 尚司氏)